

## 労働災害が増加しています

### 死亡災害は前年同期の2倍！

### 休業4日以上<sup>の</sup>災害件数は過去10年間で最多ペース！

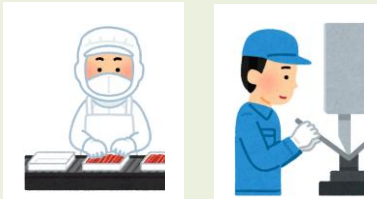
令和2年7月末時点における岡山県内の労働災害（休業4日以上）は1064件発生しており、前年同期比で3%の増加、過去10年間で最多の件数となっています。特に岡山監督署管内（岡山市・玉野市・瀬戸内市・吉備中央町の一部）、倉敷監督署管内（倉敷市・総社市・早島町）、笠岡監督署管内（笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町）における労働災害の増加が著しく顕著で、7月中にそれぞれの監督署から“労働災害増加注意報”が発令されています。

また、前年同期と比べ2倍となる10人の尊い命が労働災害によって失われています。本年は新型コロナウイルス感染症の影響で通常とは大きく異なった事業運営を余儀なくされている事業場も多いかと思いますが、いかなる状況下であれ、勤務時間中に労働者が命を落とすということは絶対にあってはならないことです。こういう苦境の時であるからこそ、労使が一体となり、職場における労働災害防止の推進及び強化を図るとともに、一人ひとりが「安全第一」の精神を強く持っていただきますようお願い申し上げます。



### Point1 【労働災害が特に増加している業種があります！】

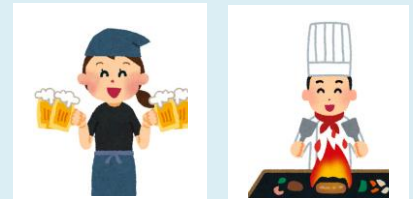
👉 製造業（前年比 10.8%増）



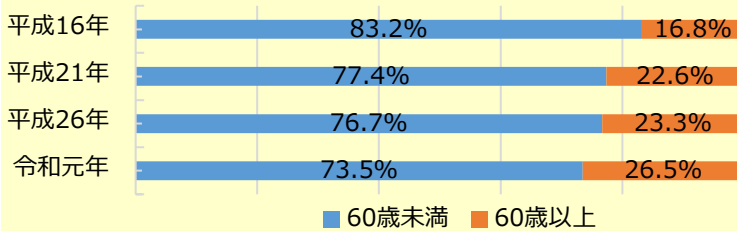
👉 保健衛生業（前年比 26.0%増）



👉 飲食業（前年比 25.0%増）



### Point2 【高年齢労働者の被災の増加が懸念されます！】



高年齢労働者が仕事中にケガをする割合が年々高まっています。今後も増加が懸念されることから、高年齢労働者が安全で安心して働きやすい職場環境を整えることが急務です。



### Point3 【死亡災害は絶対に発生させてはいけません！】

建設業における「墜落・転落」で3名が亡くなっています。以下の対策を徹底しましょう。

- ・足場には、手すり、中さん、幅木を設けること。
- ・屋根上や倉庫の中2階など高所の床の端には、周囲に手すりや柵を設けること。



- ・はしご、踏み台、脚立は安定した場所で、正しい使用方法で使うこと。（高所作業では墜落制止器具の使用）
- ・階段には、滑り止めを設けること。

「はさまれ・巻き込まれ」で4名が亡くなっています。以下の対策を徹底しましょう。

- ・機械設備の危険な部分にはガード（安全囲い）、安全装置等を設けること。（本質安全化）
- ・機械を点検、修理調整（トラブル処理等）する場合には、必ず運転を停止してから行わせること。（起動装置に札掛け等）
- ・機械の運転を開始するときは、定められた合図をもとに行わせること。

